

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-01-02
事務事業名	母子相談事業		根拠法令・要綱等 母子保健法
事業開始年度	昭和41年		
大項目 基本目標	安全に快適に暮らせる町づくり	問合せ先	担当課(室) 保健課
中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名	健康係長・白麗由美子
小項目 施策	母子保健(歯科保健を含む)	電話	64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	妊産婦、乳幼児およびその家族
目的(何のために)	出産・育児不安、育児ストレス、児童虐待等を予防することにより妊産婦、乳幼児とその家族の健康の保持増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	育児総合相談窓口、母親・両親学級、幼児クラブ、母子保健相談事業(乳児全数訪問・育児相談・すこやか広場)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	妊娠中や子育てについて不安を抱え相談できずに悩む保護者が減少し、のびのび子育てできるよう支援を行うことで子供がすこやかに成長することができる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
育児総合相談窓口件数	組	564	544	623
母親、両親学級	人	54	47	30
幼児クラブ登録者数	組	222	190	197
母子相談事業相談者	組	323	209	229
乳児把握率	%			99.2
活動実績				
事業費	千円			
直接事業費		412	106	121
人件費		6,351	6,060	6,107
事業費計		6,763	6,166	6,228
財源	千円			
国県支出金		0	0	0
受益者負担		0	0	0
一般財源		6,763	6,166	6,228
必要人員	人	1.06	1.05	1.22
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
母子保健相談者	説明			
結果指標量	組	887	753	852
対前年比	%	-	84.9%	113.1%
活動コスト	円	6,763,000	6,166,000	6,228,000
単位当たりコスト	円	7,625	8,189	
母親・両親学級	説明			
結果指標量	人	54	47	30
対前年比	%	-	87.0%	63.8%
活動コスト	円	6,763,000	6,166,000	6,228,000
単位当たりコスト	円	125,240	131,191	207,600

事業の成果			
成果指標名	母子保健相談者	式又は説明	-
成果指標量	17年度 887.00	18年度 753.00	19年度 852.00
対前年比		84.89%	113.15%
到達目標値	900.00	到達目標年度	-

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	近年一人親や孤立化している保護者が増加しており、育児不安・ストレスを感じている現状がみられることから、平成19年度より乳児の全数訪問を実施し、その軽減に努めている。また児童虐待の疑いのある家庭もあり、予防の取り組みとして育児不安の軽減を図り、仲間づくりを支援できる場の提供をしている。
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A-E>	B
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	課題認識	
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	有効性評価<A-E>	B
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	乳児全数訪問やすこやか相談は業務の委託することなく現任保健師のみで対応しておりコスト削減に努めている。また、日生・吉永地区については本庁から離れているため定例日を設け効果的に実施している。
市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
コスト	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
職	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある

平成20年度の状況		説明	20年度より母子相談事業は妊婦乳児健康診査事業に統合され、母親・両親学級は産婦人科の指導が充実してきたことから廃止している。乳児訪問を担当保健師が、全数把握を目標に実施している。個別相談と共に各地区ごとの仲間づくりを支援している。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 850	結果指標量	0
結果指標量	900.00	結果指標量	

総合評価		評価区分<A-E>	B
総合評価		評価区分<A-E>	B
母子手帳交付時の面接・乳児全数訪問等の妊婦・乳児期からの実態把握(99.2%)により、担当保健師と顔見知りになり相談しやすい体制が整い相談件数も増加している。地域での母親同士の交流を図り、仲間づくりを支援して幼児クラブやくみの森への紹介をして孤立することなく子育てできるよう支援している。また、相談業務の中から虐待の早期発見につながるよう努めている。		評価区分<A-E>	B
		評価区分<A-E>	B

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	妊娠・出産・育児の一貫した母子支援がスムーズに実施できるよう、各事業を有機的に連携・実施する	毎年	母子の安心感・満足度の向上